

オール豊成のチームワークで『潮いと勢い』のある豊成小づくり

Connect



帯広市立豊成小学校
プロジェクト通信

メンター
メンティ

外国語

キャリア

体力向上

平成 30 年 6 月 12 日
NO.3 文責 小室

キャリア

薬物非行防止教室～自分の生き方を見つめる



7日(木)、5・6年生を対象に「薬物非行防止教室」を行いました。お話をしてくださったのは、昨年度に引き続き、帯広警察署生活安全課少年係の寺町さんです。

5年生は、“非行防止”についての学習。非行の入口となる「万引き」と、事件やいじめに繋がってしまう深刻な「インターネットトラブル」についてのお話でした。また6年生は、“薬物防止”についてということで、「お酒・たばこの害」、覚せい剤や大麻などの「薬物乱用」について学習しました。いずれのことも子どもたちにとって身近な問題であるということを確認させるため、具体的な事例をもとにお話を進めてくださいました。

平成28年度の万引きの検挙数(北海道)でいうと中学生よりも小学生が多いということや、いじめで逮捕・補導などされた児童生徒は246人だった…という話は子どもたちも衝撃

を受けていました。また、大麻が十勝にも自生していること、帯広にも薬物乱用で検挙された少年がいるということからも、遠い世界の話ではないことが感じられたようでした。

数多くの犯罪行為やトラブルに巻き込まれた少年を見ている警察官である寺町さんは、この「薬物非行防止教室」を通して、子どもたちに様々なメッセージを伝えてくださいました。子どもたちにとって、これからの自分の生き方を考えるよい機会となりました。



☆言い訳は通用しない。

☆小さなことでもルールを守らないと重大な犯罪に繋がる。

☆自分で自分を守ること。断る勇気をもつこと。

☆正しい判断をすること。正しい知識をもつこと。

☆人を思いやる気持ちをもつこと。



5年生

学習を終えて・・・

6年生

●大切だと思ったことは、断る勇気をもつということです。私は、友達関係でケンカや断るとかあまりしたことがないけど、知らない人だったら勇気を出して断ろうと思いました。それと私も早くスマホがほしいけど、インターネットのしくみを少し考えてからにしたいと思います。

●お母さんが言った「スマホをあまり持たせたくない、インターネットプレイをあまりさせたくない。」などの意味がよくわかった。これからは、ちょっとしたことが大きなことにつながるかもしれないから、自分の生活を見直して楽しい人生にできるようにしたい。これから「別に大丈夫だな。」と思うことがあるかもしれないけど、このことを思い出して一度考えてみてやっていいかやってはいけないかなど判断したい。

●テレビでは、たくさん万引きやせつ盗などのニュースが流れているけど、今回こういうことを学んで、万引きなどの犯罪がとても悪い罪になると言っていたので、他人事ではなく意識して、また、今回学んだことを一生ずっと生かして生きていきたいです。そして、悪い事を断るようにもしたいです。

●ぼくは、ずっと健康な体でいたいので、たばこやお酒はなるべくさけたいと思っています。覚せい剤は、すごく怖い物だと知ることができてよかったです。身近にある危険物も知ることができたので気を付けて生活していきたいです。

●テレビで薬物を使っている人がいてあぶないのだなとは思っていましたが、今回はそれを再確認できたのでとてもよい機会になりました。そして今回の授業で薬物が身近なところにあり、覚せい剤などは手に届く薬物と聞いて、改めて気を付けようと思いました。誘惑に負けず、断る勇気というのを大切にしようと思いました。

●自分たちの身近にこんな危険な薬物があると知ってびっくりしました。薬物・お酒は使い方を間違えると、自分の人生を壊してしまうんだと思いました。私は自分の人生を壊してしまわないように、警察の方が言っていた、「正しい知識をもつこと」「断る勇気をもつこと」をしっかり心掛けていきたいです。